

# 製品安全データシート

## 1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社 東京都中央区日本橋本町4-3-8 担当

TEL(03)3270-2701 FAX(03)3270-2720 緊急連絡 同 上 改訂 平成18年6月 5日

化学物質等のコード: 0315-9840

化学物質等の名称 : セリウム標準液 (1000ppm)

#### 2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類の定義上危険有害物に該当しない。 危 険 性 : 不燃性であり、特に問題なし。 有 害 性 : 皮膚、粘膜を刺激することがある。 環 境 影 響 : 硝酸溶液になっているので、水生生物に有害であると思わ

<sup>¯</sup>れる。

# 3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物化 学名: 硝酸セリウム、硝酸 成分及び含有量: HNO3として6.11% 化学式又は構造式: 硝酸セリウム Ce(NO3)3

硝酸

官報公示整理番号 化審法: 硝酸セリウム 1 - 626 硝酸

硝酸セリウム 安衛法

硝酸

CAS No.: 硝酸セリウム 10294-41-4(六水和物として) 硝酸 7697-37-2

# 4.応急処置

眼に入った場合 : 直ちに流水で15分間以上洗い流し、速やかに眼科医の処置

眼に入った場合: 且ちに流水で15万間以上がいがり、塩とからに用は17点のできた。 を受ける。 皮膚に付いた場合: 直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。 直ちに付着部又は接触部を多量の水で充分に洗い流す。 吸入した場合: 直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気の場所に移す。鼻をかませ、うがいをさせる。 飲み込んだ場合: 毛布等で保温して安静にさせる。多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。速やかに医師の処置を受ける。

#### 5.火災時の処置

不燃性であるが周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

#### 6.漏出時の措置

炭酸ナトリウム溶液を散布して中和した後、多量の水で充分 に洗い流す。

## 7.取扱いおよび保管上の注意

扱 い: 皮膚等に付けないように、適切な保護具を着用する。 管: 密栓して冷暗所に保管する。

## 8.暴露防止及び保護措置

管 理 濃 度 : 設定されていない 許 容 濃 度 日本産業衛生学会 : 2ppm、5.2mg/m3 (1992年度版) (硝酸として) ACGIH : 2ppm、5.2mg/m3 (1992年度版) (硝酸として) 設 備 対 策 : 蒸気発生源はできるだけ密閉化するか、又は局所排気装置

、 を設置<u>す</u>る。

具で心臓を着用する。

## 9.物理的及び化学的性質

観 等 : 無色液 点 : 約100 無色液体、無臭

沸 融 点 - 3.6

#### 10.安定性及び反応性

不燃性である。 安定性・反応性 : 約6.1%の硝酸溶液になっているので、アルカリと反応する

# 11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

刺激性(皮膚、眼):皮膚、粘膜を刺激することがある。 急性毒性(50%致死量等を含む): 経口摂取すると胃を刺激し、悪心、嘔吐を起こす。 ハムスター 経口 LD50 = 430 mg/kg (60%何軽として)

亜急性毒性 データなし データなし 性 毒 データなし データなし ら展り 性性性性 データなし 笙 毒形 殖 ータなし 催 奇

# 12.環境影響情報

データなし データなし 蓄 積 性

水生生物に有害であると思われる。 毒 魚

#### 13.廃棄上の注意

アルカリで中和した後、下水に流す。

## 14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。 該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。 (国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。) 輸送に関する国際規制 陸上輸送 データなし

データなし データなし データなし 海上輸送航空輸送

国連分類番号 国連番号

2031

# 15.適用法令

労働安全衛生法施行令等の一部改正

第18の2別表第9「名称等を通知すべき有害物」 307

## 16.その他の情報

▽与文MA 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000) 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編 化学大辞典 共同出版 安衛法化学物質 化学工業日報社

安衛法化学物質 産業中毒便覧(増補版) 医歯楽出版 化学物質安全性データブック オーム社 公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版 化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分で はありませんので、取扱いには十分注意して下さい。